



令和5年3月1日現在	
世帯数	: 843世帯
人口	: 1498人
男	: 715人
女	: 783人

Mウイング・駅前会館 避難所開設運営訓練



避難者受け入れの手順を確認する参加者

円滑な避難所開設運営は、災害時の住民生活に直結する大切なものであることから、第一地区は2月22日(水)、2月25日(土)の両日午前9時30分から正午まで、避難所開設運営訓練を開き、地域住民と市役所職員併せて延べ66人が参加して避難所開設のノウハウを学びました。

参加者は、「総務班」「避難者管理班」「情報広報班」「物資・施設管理班」「衛生班」「食事・炊出し班」「救護・要配慮者班」などを担当、それぞれの仕事内容や、必要な台帳や伝票などの書式・記入方法などについて説明を受けました。

25日の駅前会館では、午前9時30分から訓練を開始。訓練内容の説明を受けたあと、4グループに分かれ、避難者受入業務の手順を確認しました。避難者役の人が、避難して来た家族全員分の「避難者名簿」を提出。受け取った受付係は、健康状態などの特記



段ボールベッドを組み立てる参加者

事項を確認し、階段を登るのが困難かどうかなどの状況に配慮して部屋割を決め、避難者部屋に案内、その後、避難者台帳を作成するという流れを訓練しました。

10時50分からは、携帯トイレの設置、使用訓練をしました。断水していても、既存のトイレが破損していなければ、そこに簡易トイレ用のビニールと吸水パッドを設置して使用する方法などを体験しました。

11時5分からは、段ボールベッドと間仕切りの組み立てを実施。恐る恐る触って見ていた参加者は、段ボールベッドの耐荷重は1トンとの説明に、安心したのか座ってみるなどして強度を確かめています。

した。

振り返りでは、配慮すべき点や改善点などの意見も出て、実際にやってみた成果を一緒に感じているようでした。

訓練に参加した柳川由加子さん(本町五丁目)は「訓練は、すごく大事なことで、分からなかったことや今後の課題も見えてきた。多くの人に参加してほしい」と話しました。

第一地区町会連合会の春日会長は「避難訓練の中でも、避難所開設は大切。これからは行政と協働しながら、段階



Presented by
視聴覚委員会

氷彫フェスティバル
2023

まちかどフォト



花時計公園に並ぶ氷彫 (パルコ前)



伊勢町3丁目
新そば体験 (11/6)



本町5丁目
マレットゴルフ (11/6)



餅つき大会 (12/3)



ご近所ひろばだよ! 全員集合!
(10/26) (信毎メディアガーデン)

町内
公民館

第一地区の公民館活動
〜コロナ禍でも、三密を避けながら活動しました〜

第一地区
公民館



こどもいけばな (10/22)



生涯骨太!
クッキング講座 (10/20)

電車通り

ロシアによるウクライナ侵攻は国際的、また歴史的な大事件です。この戦争に、国際社会の主要国の一員日本も深く関わらざるを得ません。そして、ふと気がつく「戦争絶対反対」という戦後日本の金科玉条の影がずいぶん薄くなったようです。民主主義対専制主義、国際秩序への挑戦に対する正義の戦いといった視点から日本国民の大多数がウクライナに与っています。ウクライナは正義の戦争をしているから日本も極力支援・協力すべきだ、というのが日本国民大方の考えです。そこには「正義の戦争」の肯定が見て取れます。日本国民が戦争することを支持しています。そして日本が「反撃能力」を持つことや防衛費の倍増にも目立った反対が無いようです。「正義の戦争」肯定の延長線で、日本は「戦争が出来る国」に変化していくように見えます。思えば、現代世界において、戦争について例外的立場にいた日本も「普通の国」になりつつあるのかなあ、と思っている昨今です。戦争は絶対悪ですが、良きにつけ、悪しきにつけ、世界の大国に数えられている日本は試練の時代を迎えようとしているようです。